令和７年度
相模原支援学校小学部

学校説明会

小学部の取り組み

小学部教育目標

（１）元気なからだと豊かな心を育てる（健康）
（２）自分のことは自分でできるようにする（自立）
（３）身近な人や仲間、地域の人と関わる力を育てる
　　（作業・労働・コミュニケーション）
（４）興味・関心を広げ進んで学ぶ力を育てる
　　（社会性・余暇）

小学部教育方針

- 一人ひとりの実態に応じた授業作りを目指し、「実践・検証・改善」を行なう
- 家庭及び関係機関と連携を密にし、指導の効果を高める
- コミュニケーション指導に重点を置くとともに、地域との交流学習等も含めて人と関わる力を高めていく
- 学年を超えて課題に応じた組織づくりを行ない、協力体制を整えて児童の主体的な学びを支える
- 人権に配慮した指導につとめる

児童数

	男　子	女　子	合　計
１年	２	４	６
２年	５	２	７
３年	０	７	７
４年	４	１	５
５年	４	３	７
６年	５	２	７
合計	２０	19	39

教科の指導目標
指導内容について

ことば・かず

＜目標＞
コミュニケーション（指示理解や意思表出等）や認知・弁別能力、言葉や文字、数や量等についての基礎的な力を養う

＜実施単位＞
　学年

おんがく

＜目標＞
さまざまな音に気づいたり、演奏したりして、
表現する力や模倣する力を育て、音楽活動への意欲や
関心を高める

＜実施単位＞
　低学年・高学年

ずこう

＜目標＞

・身近な材料や用具に親しみ、描いたり作ったりしながら、基礎的表現技能を身につける
・表現する楽しさ、喜びなどを味わう

＜実施単位＞

学年

たいいく（からだつくりを含む）

＜目標＞

- 基礎的運動能力や、身体意識、空間認知能力の向上を図る
- いろいろな器具・用具を使った運動を通して、協応性、リズム感、敏捷性、筋力、バランス感覚を身につける
- 多様な動きを経験することで、身体意識を高め、体幹を育てるとともに、心身をコントロールする力の基礎を育てる
- 見て、聞いて動く活動を通して集団での簡単なルールのある動きにつなげる

＜実施単位＞

低学年・高学年

せいかつ（「道徳」を含む）

＜目標＞

・季節の変化や身近な自然に対する興味関心を広げる
・身近な公共施設・公共機関を利用することで
　社会経験を広げる
・家庭での手伝いや生活の場面に結びつく内容を
　目的を持って行えるようになる

＜実施単位＞

　学年・低学年・高学年

日常生活の学習

登下校

- 自分なりの方法であいさつをする
- 自分の靴箱がわかり、靴を出し入れしたり
  履き替えたりする
- 朝の支度や帰りの支度を通して
  準備することや片付けることを知る

着替え

- 手順表を見たり、言葉かけを受けたりして、着替えられる
- 脱いだ服をたたみ、決められた場所に片付けることができる

排泄

- トイレで排泄する
- ズボン、下着の上げ下ろし、排泄後の処理、手洗い等を行う

朝の会・帰りの会

- 一日の活動内容を知り、見通しを持って活動できるようにする
- 一日の始まりや終わりを意識する
- その日の学習を振り返る

給食

- 身支度や食事の下膳、片付けをする
- 食具を使って食事を食べる
- いろいろな食材を経験する

係活動/当番活動

- 自分の役割を覚えて、活動に取り組む

じぶんのじかん

- 好きな遊びを増やす
- 個別の課題に取り組む
- 好きな遊びを選択し、伝えることができる
- 友だちや教員と関わって遊ぶ
- ルールを守って、仲良く安全に遊ぶ

主な行事について

校外行事

行事	対象学年	場所	実施日
宿泊学習	５年	相模川ビレッジ 若あゆ	9月25～26日 １泊２日
修学旅行	６年	八景島 シーパラダイス	９月18～19日 １泊２日
遠足	６年	アストレア スポーツクラブ	2月10日

校外学習

日常の授業の延長として、
年に１～２回程度校外に出かけ、学習を行う

＜目標＞
教科、学年により異なる
・季節の変化や身近な自然に対する興味関心を広げる
・身近な公共施設・公共機関を利用することで
　社会経験を広げる